

国際会議から 第13回世界鉄道騒音会議 (IWRN 13)

本国際会議は鉄道騒音全般に関する国際会議です。第1回は1976年にイギリスのダービーで開催され、以後、日本（滋賀県長浜市）を含む世界各所で開催され、今回で13回目となります。開催地は、現地の鉄道を利用して参加することを前提に選ばれ、今回の会場であるゲントは、ブリュッセル空港から高速鉄道で約1時間のところにあります。今回の会議には、鉄道総研からは騒音解析研究室の末木主任研究員・澤村、地質研究室の野寄研究員が参加しました。

本会議は騒音予測・転動音・構造物音・空力音・構造物振動・地盤振動などの口頭発表・ポスターセッションがありました。筆者は空力音のセッションで台車部空力音の新しい測定法および低減対策について口頭発表を行いました。本会議はすべてシングルセッションで構成されているため、多分野からの質疑応答が行われました。末木主任研究員はきしり音の計測・評価に関する口頭発表を、野寄



澤村陽一  
環境工学研究部  
騒音解析研究室  
研究員

研究員は地盤振動に関するポスター発表をそれぞれ行い、活発な議論が交わされていました。

滞在したゲントは古都の趣を残す都市でありながら、大聖堂などのある旧市街地の主な交通手段としてトラム（路面電車）や連結バスが運行されていました。旧市街の景観を守りながらも住人や旅行者の移動の便として運行する鉄道が印象的でした。



発表中の筆者



旧市街を縫うように走るトラム

正式名称：13th International Workshop on Railway Noise

開催国：ベルギー（ゲント）

期間：2019/9/16 - 20

主催：KU Leuven

開催頻度：3年に1回

次回開催予定：未定

ホームページURL：<https://kuleuvencongres.be/iwrn13/>